

2022/7/23

哺乳動物由来の受精促進因子の構造決定

筑波大学数理物質系 (現所属: 名古屋大学大学院生命農学研究科)

北 将樹

1. 成果の概要 (1~2 ページ)

実施内容

哺乳動物由来の受精促進因子の構造決定を目的として、ラット子宮洗浄液から分画した活性画分について、クライオプローブ装備 900 MHz NMR 装置を用いて、 ^1H , COSY, HSQC, HMBC など各種測定を行った。

本課題により得られた成果、当初目標と結果との比較

活性成分はごく微量であり、マイクロ試料管を用いて長期間(1週間) ^1H NMR スペクトルを測定しても、シグナルはほとんど何も観測されなかった。

今後の展開、課題

クロマトグラフィーでの挙動や紫外吸収スペクトルなどから、目的の因子は低分子の糖脂質もしくはリン脂質と推定している。今後、活性を指標に NMR 解析に適用できる十分な量の物質を確保し、目的の達成を目指したい。

2. 利用における感想(改善要望等を含む)

NMR など各種機器分析に精通した職員の協力を得て、高度な測定・解析を実施できました。改めて感謝申し上げます。

3. 利用周辺環境に関する希望

特にありません。

4. 今後の利用予定

現時点で、利用予定はございません。

5. 今後期待するその他のサービス

本報告書については、印刷または必要な編集・加工を行った上で公開します。また、別途開催予定の成果報告会・シンポジウムや委託事業報告書作成時に
いて、本報告書の内容についての資料作成または発表をお願いする場合があります。特許取得等の理由により公開の延期を希望する場合は必ず事前にご相談
ください。

特にありません。

6. その他

特にありません。

7. 利用実施時期及び期間

2012 年 12 月 17 日 ~ 2014 年 6 月 30 日

当初計画どおり

(測定の進捗を踏まえつつ、その都度計画を立てて利用した。)

8. 利用研究基盤

溶液 900MHz	2012 年 12 月 17 日 9 時~2012 年 12 月 25 日 9 時	(8 日間)
溶液 800MHz	2013 年 12 月 05 日 9 時~2013 年 12 月 16 日 13 時	(11 日 4 時間)
溶液 800MHz	2013 年 12 月 16 日 15 時~2013 年 12 月 17 日 9 時	(18 時間)
溶液 900MHz	2014 年 06 月 23 日 10 時~2014 年 06 月 30 日 10 時	(7 日間)